

花うさぎの「世界は腹黒い」

日本が普通の国になるように。
産経新聞を応援しています。

中国が狙う名古屋三千坪の国有地！（2011/01/29）

(<http://hanausagi.iza.ne.jp/blog/entry/2131713/>)

WILL3月号に頑張れ愛知の井上代表がレポート

市民の知らぬ間に中国領事館が購入へ、
背景に民主古本議員の名も

花うさぎ

検索

<http://hanausagi.iza.ne.jp/blog/>

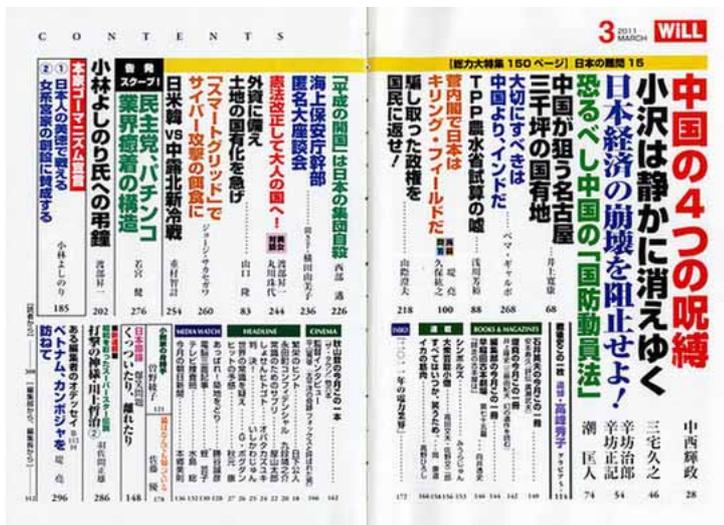
WILL3月号が発売されました。以前からこの雑誌には「たかじんのそこまで言って委員会」のカラー広告が掲載されていて、花田編集長が度々出演しているせいか、と思っていたのですが、本号には執筆陣に三宅久之氏と辛坊次郎・正記兄弟が名を連ねているのが目につきます。あの辛坊次郎ですよ。

ところで、本号には頑張れ日本！愛知県本部代表の井上寛康氏が「中国が狙う名古屋三千坪の国有地」と題して、現在展開中の反対闘争の内幕を寄稿しています。東京池袋のチャイナタウン計画や新潟の領事館建設構想、あるいは北海道の水資源森林買収問題はかなり広範に知られるようになりましたが、名古屋の方は今ひとつ情報が不足気味かな、と思っていた矢先でしたので良いタイミングでした。

以下にその一部を抜粋して概要を紹介致しますが、ここでも名古屋市民が知らない内に売国民主党議員古本伸一郎前財務大臣政務官が絡んでいたというのです。冗談抜きで民主党政議員にはろくな議員がいませんね。同会のホームページから反対署名活動の状況グラフとチラシも掲載しました。三千坪の国有地を市民が知らぬ間にこっそりと、なんてとんでもないですね。皆さん、断固反対しましょう。

感情を慮った東海財務局が売却決定を遅らせた。それによって、私たちが反対運動を起こす時間的な余裕ができた。(中略)

WILL4月号の目次ページスキャン画像(クリックでHP)
<http://web-wac.co.jp/magazine/will/201103w>



WILL3月号の表紙、何と辛坊兄弟が初登場しています。

尖閣問題で「凍結」

在名古屋中国総領事館が、名古屋市の一等地、約三千坪を購入しようと、東海財務局に国有地購入を希望している。昨年五月三十日、中日新聞朝刊に、名古屋城近くの元国家公務員宿舎・名城住宅跡の国有地約一万坪の取得を、学校法人愛知学院(七千坪)と在名古屋中国総領事館(三千坪)がともに希望していることが初めて報じられた。

この報道まで、名古屋の住民はじめ国民は、中国がこの跡地の購入を申し出ている事実を知らなかった。同紙は七月十五日朝刊で、東海財務局が購入希望の受け付けを締め切り、希望者は愛知学院と中国の二者だけになり、跡地はこの二者で分割取得されることが濃厚になったと報じた。

中日新聞報道によれば、当初、昨年九月から十月にかけて決まるはずであった。ところが昨年九月、尖閣諸島で中国漁船がわが国の巡視船に体当たりする事件が起き、日本国民の

住民への説明は一切なし

十月二十日に東海財務局へ署名用紙を携え、状況調査と抗議に出向いた。東海財務局員の口は極めて固く、「審査中」という以外は何も語らなかつた。新聞ですでに報道されていたにもかかわらず、愛知学院と中国総領事館の名前すら挙げることはなかつた。

二回目からは、東海財務局の上層部と話ができるように、愛知県選出の民主党政院議員の秘書に同道願った。本年一月現在までに、四回以上東海財務局へ赴き、手渡した署名人数は一万人を超える。「行動委員会」の東海財務局に対する主張は、次のとおりである。

一、国有地の売却は公共性が優先事項である。現在の在名古屋中国総領事館は敷地面積約百坪程度のビルを借り、十数名の館員が領事館の主要業務であるビザ発給に携わっている。ビザ発給以外にさしたる仕事がない領事館が、なぜ三千坪の土地が必要なのか。三千坪を正当化できる公共性などがあるのか。

二、もし三千坪も取得することとなれば、館員が現在の十数人で済むはずがない。もっと大勢の中国人が入りやすくなる。

尖閣諸島での中国漁船による海上保安庁巡視船への体当たり、東シナ海におけるガス田盗掘、日本の国旗を踏み付けたり、わが国の領事館に石を投げ付ける暴力的反日デモを行う中国人を見て、名古屋の地元の住民が恐怖をいだかないはずがない。にもかかわらず、住民への説明抜きで売却を決めることはいかなるものか。住民説明会を開いて、意見を聴取すべきである。(次ページへ続く)

名古屋 中国領事館問題

検索

新潟 中国領事館問題

検索



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見！
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」

iza プログランキング
【全体】6位 【政治】3位
(2011年2月8日時点)

花うさぎの「世界は腹黒い」

日本が普通の国になるように。
産経新聞を応援しています。

中国が狙う名古屋三千坪の国有地！（2011/01/29）

(<http://hanausagi.iza.ne.jp/blog/entry/2131713/>)

WILL3月号に頑張れ愛知の井上代表がレポート

市民の知らぬ間に中国領事館が購入へ、
背景に民主古本議員の名も

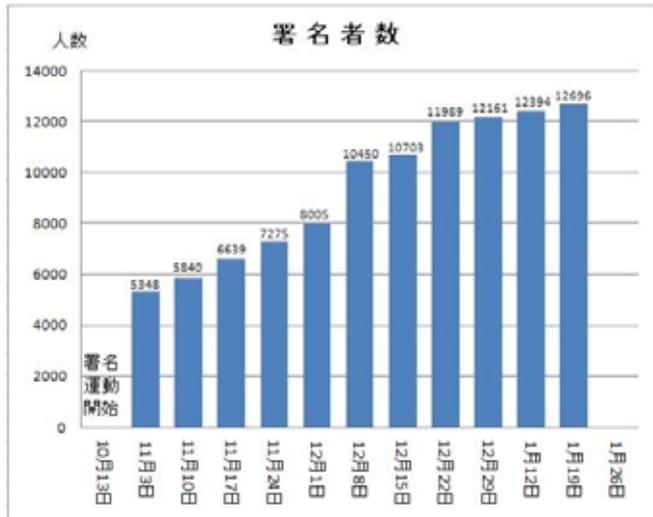
花うさぎ

検索

<http://hanausagi.iza.ne.jp/blog/>

在名古屋中国総領事館に国有地名城住宅跡地を売却することに反対するための署名活動集計状況 1月27日現在、23971人。詳細はHPで。

(<http://ganbarehonaichi.blog24.fc2.com/>)



三、現在の名古屋市東区にある中国総領事館は、昼夜を問わず風の日も雪の日も常時十数人の警官が警備に当たっている。もし、中国が三千坪の土地を購入して領事館を建てれば、一体、何人の警官が警備に当たることになるのか。警官が気の毒でならないし、その警備費用は日本の税金である。国民は納得するであろうか。

四、土地の取得については相互主義が国際的な原則である。日本が中国で土地を購入できないのであるから、中国に対して土地を売る必要はない。もし、一旦売ってしまえば、二度と日本人の手には戻らなくなる。

このような当方の主張や疑問に対して、東海財務局員は「審査中」であることを理由に全く答えなかった。この種の国有地売却で、過去において住民説明会を行った事例はなく、法律上も一切義務はないという。

また、東海財務局との折衝の過程で、名古屋市の都市計画課が策定した「名古屋市名城・柳原地区都市再生プロジェクト」の存在を知った。この再生プロジェクトの計画と、中国への売却とは到底相容れない内容であることは明らかであった。その整合性を問うたが、これに対しても「審査の中で今後調整する」と言うのみで、どのように調整するのか一切明らかにしなかった。(中略)

同会主催の昨年10月31日の尖閣反対デモは名古屋では空前の600人を超える規模だった。



中国の走り使い

そこで、この再生プロジェクトは三者の計画として公表され、この線で考えられていたのであるから、この計画とは両立し得ない愛知学院や中国総領事館をつくとすれば、住民への説明が必要ではないかと問い詰めた。これに対しても、東海財務局は今後、名古屋都市計画課と調整するというのみであった。

東海財務局とこのようなやり取りをしている最中、『週刊新潮』(平成二十二年十二月十六日号)の、櫻井よしこ氏に

よる連載コラム・日本ルネツサンスに、「今度は国有地、名古屋に中国の魔手」というタイトルで、この中国総領事館の土地購入問題が詳述された。櫻井氏によると、昨年九月二十一日まで財務大臣政務官としてこの件を担当した愛知選出の古本伸一郎民主党衆議院議員が語ったこととして、次のように記されている。

古本議員は、中国が国有地・名城住宅跡地を購入することについて、「河村市長とは随分、話し合い、彼が(中国への)売却を快く思っていないことは知っています。そこで私は中国側に、(名古屋)市の都市計画課や(名古屋市)議会、地域の区長ら関係者に説明し、了解を取りつけるよう注文をつけました。その件はクリアしたと(中国側から)報告を受けました」(中略)

名古屋の皆さん、知っていますか？

名古屋城の横、市役所の隣に中国領事館が来る！

名古屋城の横の元国家公務員宿舎『名城住宅』(名古屋市北区名城)跡の国有地を在名古屋中国総領事館が購入しようとしています？

■都心最大級の国有地の一部、跡地南側の約3千坪・約1万平方メートル(現在の約30倍です。)の取得を東海財務局側に購入申請済みです。

中国総領事館がこの土地を購入して、ビルを建てるとどうなるのでしょうか

- 日の丸を焼いたり、日本人が経営する店に石を投げる反日中国人が始終出入りするになったら、町の人は安心して住めるでしょうか。
- 尖閣騒動で領海侵犯して、漁船を日本の巡視艇に体当たりした船長は、中国では英雄扱いです。彼は中国政府の指示を受けて行ったのではないかと、中国は日本の友好国ではありません。もし、この3千坪の領事館に出入りする中国人が中国政府の指示で活動したら???

国有地の売却先は公共性が最優先です

- ここは名古屋の横です。飛行機が立ち並ぶ官公庁、名古屋城を見下ろせる場所です。この広大な土地が他用途に転用(日本の法律が及ばない区域)となれば、日本人は本当に利益でなく、なりませぬ。
- 現在東区にある中国領事館は100坪ほどです。そこを賣時、警察官が警備していますが、3000坪もの警備をするのはどれほど増員するのかが、警備費用は市民の税金から支払われているのです。
- 中国領事館に売れた場合、取壊費は無償となり、その後の固定資産税も無償です。日本人は中国の土地を取得できません。借りるだけです。これではとても公平な取引とは言えません。私語にとつてなんのメリットもありません。

【中国の国防動員法】を知っていますか？国家分裂活動や戦争、テロなどの有事の際、国民に対し動員令を発する内容や国民の権利、義務を規定しています。14歳からなる間接は、有事の際に「全国民が祖国を防衛し侵略に抵抗する」となっています。たとえ中国本土以外(日本)に在住している中国人もその義務をたせなければなりません。

【尖閣騒動での領海侵犯の中国漁船】を覚えてますか？ 本年9月7日、尖閣諸島の日本領内において中国漁船が海上保安庁の巡視艇に体当たりした事件で、公費執行経費で逮捕した中国人船長を格別保護のまま釈放しました。尖閣諸島は日本固有の領土であるのは国際法上でも認められた事実ですが、1970年膨大な地下資源があると分かったために、中国は勝手に国内法で自国の領土だと主張し始めました。

頑張れ日本全国行動委員会愛知県本部は、名古屋城の近くに3000坪もの中国領事館が出来るとに反対する運動を行っています。賛同して下さる皆さん、一緒に声をあげませんか。

頑張れ日本！全国行動委員会

愛知県本部のブログはこちら <http://ganbarehonaichi.blog24.fc2.com/>

ただいま会員募集中 入会無料

同会作成の反対チラシ(画像クリックでPDFファイル)

古本議員は中国の言い分をそのまま信じたのであろうか。中国が嘘ばかりつく国であることは、大方の日本国民が承知している。古本議員は日本の国会議員であることを忘れ、中国の走り使いに墮している。

昨年暮れ、名古屋市都市計画課に確認したところ、都市計画課は中国とは直接の話し合いは今まで一切ないとのことであった。名古屋市議会も了解などしていない。

昨年十一月、自民党の藤沢忠将市議が、中国にこの土地を売ることに反対する意見書を起草して、各会派に諮っている。もし、名古屋市議会が承知していたとすれば、意見書などを発議することはない。議会として了解などしてはいないことは明白である。(後略、WILL3月号から抜粋)



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見！
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」

iza プログランキング
【全体】6位 【政治】3位
(2011年2月8日時点)